

学校食育論特論（選択・講義1単位）[教職（家庭・栄養教諭）必修]

井元りえ・石田裕美

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：学校における食育の実践力と、食育の効果的な推進のための学校マネジメント能力の向上がテーマである。DPの「栄養学の幅広い視野に立って精深な学識を有する者」の達成のため、教職領域の知見を深める。

到達目標 ①子どもの食に関する実態をアセスメントできる。②学校における食育推進のための組織や活用資源についてアセスメントできる。③ ①②のアセスメント結果を踏まえ、食育の推進計画と評価方法の立案ができる。

授業の概要：まず栄養教諭あるいは家庭科教諭として各自が実践している（あるいは実践を計画している）食育カリキュラムを見直し、課題を明らかにする。それを基に、学校現場における見学・観察・インタビュー調査を行い、食育の推進のあり方について考察を行う。

【授業計画】

- ① ガイダンス、各自の食育カリキュラムの見直し、課題の明確化
- ② 事前指導：学校における観察の視点、インタビュー調査とは
- ③ 学校現場における観察（食育の授業見学）＜学外＞
- ④ 学校現場における調査（教員へのインタビュー調査）＜学外＞
- ⑤ 大学に戻り、観察・調査の結果をクラスにおいて共有
- ⑥ 食育の推進計画と評価方法の立案
- ⑦ 食育の今後の課題

【授業外学習】

配付資料や授業時に指示する文献を読み、課題の明確化を行うこと。学校現場における観察・調査の立案およびまとめを行うこと。

【成績評価の方法・基準】

授業における発表（50%）、及び課題レポート（50%）により総合的に評価する。

【教科書】

特になし

【参考書】

- ・文部科学省『食に関する指導の手引―第二次改訂版―』平成31年3月
- ・朝岡幸彦・野村 卓編著『食育の力－食育・農育・教育』光生館, 2010
- ・小中高等学校学習指導要領解説, 文部科学省

【教材】

適宜配布する。

【備考】

この科目は、栄養教諭および家庭科の専修免許状取得希望者のみ履修可能。